

2018 年度 全国自立援助ホーム協議会事業報告

1. 国の動きと共に自立支援・自立保障に向けた取り組み。
2. 25 回記念大会に向けた全国ホーム紹介パンフレットの作成。
3. 協議会の安定を図り法人化へ向けた体制整備。
4. 各種機関連携と関係団体との協力参画。
5. スタッフの質の向上へ向けた研修体系の確立。
6. より良い援助や制度に向けた調査研究。

平成 30 年度においては、児童福祉法改正に伴う国の「新しい社会的養育ビジョン」の発出から、新たな「都道府県社会的養育推進計画」の策定が求められた。しかし、自立支援の強化事項には、社会的養護自立支援事業の実施推進があげられているが、自立援助ホームについては拡充のみで特に大きな計画には至っていない。平成 31 年度の予算については、少しずつ光を差しいただいているが、もう少し必要な部分をこの時期に都道府県社会的養育推進計画の中に先の展開を見据えて組み入れていく必要がある。

当協議会は設立 25 年を迎え、今全国大会を 25 周年記念大会として名古屋で開催、計画通り現時点での全国自立援助ホーム紹介冊子を作成し、より理解を深めるために配布した。ホーム数も約 160 軒になり、各地区ブロックとしての連携と活動が強化されてきた。ホームが増加し、より多くの必要とする子どもたちが利用できることは望ましいが、我々関係者の人材確保と育成を図っていかなければならない。次年度に向けては、これからの自立援助ホームのあり方につて、制度と位置付けなど、さらに深く検討していく。

2018 年度 事務局事業報告

事務局の構成

事務局長 松本耕造（長谷場新宿寮）
事務局 恒松大輔（あすなろ荘）

1. 事務局活動

・会員ホーム関係

相談対応／入会退会関係（入会申し込み書の送付・電話での対応）

各種書類（通知文・ハンドブック・パンフレットなど）の配送／メールにて各種連絡
自然災害などの被害届／会員のメールアドレスの管理／発行物の送付

・会計関係

各種振り込み／会計ソフトの管理／決算書・予算書の作成

運営役員会の交通費の支払い／協議会の会費の徴収・祝い金振込み

三井住友海上保険の支払い

・運営役員会

運営役員会の開催（日程調整・会議室の確保・参加者に通知）／運営役員会の議事録

・保険関係

三井住友海上保険の受付

・助成金関係

社会人一年生スタート応援事業助成の受付／

・その他

協議会に対する質問や相談への対応／マスコミ対応

2. 運営役員会の開催

- 第1回 2018年 4月23日 11:00～12:00 東京ビッグサイト
ホーム長研修会・総会 最終確認
- 第2回 6月14日 13:00～18:00 スペースブリッド大手町
ホーム長研修会・総会総括
愛知・名古屋大会について
求人について
予算要望書提出について
各委員会より報告
その他
- 第3回 8月 2日 13:00～17:00 スペースブリッド大手町
全国大会について
法人格について
あり方検討委員会について
各委員会報告
その他
- 第4回 11月 5日 11:00～12:00 キャッスルプラザ
全国大会最終確認
- 第5回 2019年 1月23日 14:00～18:00 芝ダイヤハイツ 910
愛知名古屋大会総括
神奈川横浜大会について
第三者評価見直しについて
新制度について
各委員会より報告
その他
- 第6回 3月18日 13:00～17:00 エスペランス桑名
神奈川横浜大会について
ホーム長研修について
総会について
国家予算要望について
各委員会からの報告
その他

※開催時期に間に合わない可能性のある議案については、そのつど運営役員にメール等でお知らせし、確認を取っていた

3. 事業報告

- ・2018年 4月24日 総 会 (東京ビッグサイト)
- ・2018年11月5日～6日 愛知・名古屋大会 (キャッスルプラザ)

4. 入退会関係

入会ホーム 12ホーム

退会ホーム 2ホーム

5. 販売について

ハンドブック 173冊

パンフレット 480枚

ピンバッジ 97個

2018年度制度政策委員会 事業報告

制度政策委員会の構成

委員長 前川礼彦（湘南つばさの家）、

副委員長 矢吹富子（南風）

委員 小倉淳（みんなのいえ）、渡辺剛史（トリノス）、関茂樹（NEXT）

活動要旨

制度政策委員会は新体制後2年目となり、他委員会との有機的な連携を図る為に、調査研究委員会との合同委員会を開催し意見交換を行った。例年の厚生労働省への予算陳情や意見交換会、政党団体ヒアリング対応を行う他、第1種、2種の社会福祉事業の研究、制度政策学習会では他団体の講師を招き、ロビーイング活動について役員、委員ともに学ぶ機会を企画した。

①厚生労働省への陳情、意見交換会

- ・5月23日 国家予算要望書陳情（参加者：会長、委員長、事務局 計3名）

国家予算要望書の内容を説明し、担当課長以下5名との意見交換を行う

- ・1月18日 予算に関する意見交換会

（参加者：会長、委員長 計2名）

平成31年度予算概算について内容を確認。再来年度に向けて要望、現状を伝える。配置基準、心理士常勤、社福士対象施設など要望を伝える。

②政党へのソーシャルアクション

- ・11月15日 第二衆議院会館、公明党団体ヒアリング対応。

（参加者：副会長、事務局長、委員長 計3名）

自立援助ホームの現状と制度の経緯を伝え、職員配置、防災関係などについて課題を説明。

③制度政策学習会開催

- ・1月24日 「望むべく制度を実現させる為に」

講師：NPO法人BONDプロジェクト 橘ジュン氏、タダケンジロウ氏

竹下奈都子氏

会場：人権教育啓発推進センター（参加者：役員、事務局、委員等12名）

内容：BONDプロジェクトの活動、アウトリーチ、ロビーイング活動の実際を学ぶ。

④国家予算要望に向けたアンケート実施、その他委員会活動

- ・4月24日 制度政策委員会。今年度の取り組みについて。

第1種、2種社会福祉事業の比較研究、制度政策学習会企画を検討。

調査研究委員会合同委員会。両委員会の活動を共有し連携について協議。

制度政策に繋がる調査研究の必要性を確認。

- ・2月10日～3月4日 2020年国家予算要望書アンケート実施

2018年度 調査研究委員会事業報告

調査研究委員会の構成

委員長：屋代通子（シーズ南平岸）

副委員長：川口充紀（わだちの家）

委員：内藤直人（鳥取フレンド）、橋本由佳（坂梨ホーム）、合木啓雄（丸亀おひさま荘）

活動の要旨

2018年度は任期二年目であり、「自立援助ホームのあり方」を考えていく上でどのような調査が求められるかを追究した。

そのため、協議会としても初めての試みであったが、制度政策委員会との合同委員会を行い、ニーズのすり合わせを図った。

また、科研調査「子どもの貧困に関する総合的研究」の調査チームと合同で、退居者の生活状況に関する調査の調査票の作成に取り組み、実施に着手している。

委員会活動

4月24日（火）東京ビッグサイトにて。制度政策委員会との合同委員会

9月13日（木）大阪たかつガーデンにて。第二回委員会委員初顔合わせ。

11月3日（土）シーズ南平岸にて。第三回委員会のための打ち合わせ

11月6日（火）全国大会中、第三回委員会

12月10日（月）サピアタワーにて。第四回委員会

*その他、メールにてやり取りし、随時打ち合わせを行った。

ホーム人数調査

今年度は、例年の、全ホーム対象人数調査に運営実態とホーム長の業務量、専門職配置状況と社会的養護自立支援事業の実施状況の調査を合わせて行った。

調査結果は全国大会でフィードバックするとともに、厚生労働省に新年度の予算要望をする際、説明する資料とした。

2018年度 研修委員会事業報告

研修委員会の構成

委員長 串間範一（ウイング・オブ・ハート）

副委員長 大野朋美（つばさ）

委員 平井千晶（慈泉寮）、羽田浩之（ベアーズホーム）、本間稚啓（人力舎君津）

事業の内容

▶ ホーム長研修会

日時 2018年4月23日 場所 東京ビッグサイト

- 内容
- ・行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課
 - ・研修 処遇改善加算要件研修
 - ・新規ホーム紹介

参加者数 118名

▶ 女性スタッフ研修会

日時 2018年7月2日～3日 場所 埼玉 大宮ソニックシティ

- 内容
- ・講義
「知的・発達にハンディを抱え生きづらさのある入居者への援助のあり方」
埼玉育児院 理事 高倉富美子 氏
 - ・各グループにおいてテーマ設定 フリートーク

参加者数 64名

▶ 第25回全国自立援助ホーム協議会名古屋大会

日時 2018年11月5日～6日

場所 愛知県名古屋市 キャッスルプラザ

- 内容
- ・行政説明 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課
 - ・基調講演 「これからの自立援助ホームに期待するもの」
関西大学教授 山縣文治 氏
 - ・分科会
1 私の本音 若者が語る就学支援と高齢児支援
2 退居者支援
3 こころの治療援助
4 人材確保
5 就労支援の具体的取り組み
 - ・記念講演 「今を生きる力」
愛知淑徳大学 教授 吉井 景 氏

参加者数 264名

▶ 新規ホーム研修会

日時 2019年2月18日～19日 場所 東京アルカディア私学館

- 内容
- ・自立援助ホームの理念と歴史
協議会会長 平井誠敏 氏（慈泉寮）
 - ・自立援助ホームの経営管理について
協議会研修委員長 串間範一 氏（ウイング・オブ・ハート）
 - ・実際のホームでの生活について
協議会事務局次長 松本耕造 氏（新宿寮）
 - ・ホーム運営の安定と関係機関との連携
協議会事務局長 恒松大輔 氏（あすなろ荘）

本研修をDVDに記録し、以後の新規ホームにおける部内研修に活用して頂くこととした。

▶ スタッフ研修会 未実施

▶ 研修委員会の開催

各研修会開催後に実施反省と次回の企画調整会議を実施した。また、メール等で随時連絡を密に行いながら、費用軽減に努めて運営してきました。

▶ 今後の課題

- ・研修会後のアンケートを実施し、今後の企画に生かすこととした。
- ・処遇改善加算要件研修の実施に向け、事務局との調整を行います。
- ・研修体系を見なおし、各ブロックにおける研修の充実を図る。そのために、研修の企画運営に関する研修を企画する。

2018年度 広報委員会 事業報告

広報委員会の構成

委員長 新井秀親（夢舞台）

委員 松木良介（経堂憩いの家）、大橋達也（吾が家）、野原知子（マルコの家）

① 広報委員会の定期開催

平成30年度の広報委員会は、下記の通り定期的に年8回開催致しました。

第一回広報委員会	平成30年6月11日	ウエスタ川越	埼玉
第二回広報委員会	平成30年7月27日	ウエスタ川越	埼玉
第三回広報委員会	平成30年9月1日	ウエスタ川越	埼玉
第四回広報委員会	平成30年10月17日	ウエスタ川越	埼玉
第五回広報委員会	平成30年11月27日	ウエスタ川越	埼玉
第六回広報委員会	平成31年1月9日	ウエスタ川越	埼玉
第七回広報委員会	平成31年2月25日	吾が家	茨城
第八回広報委員会	平成31年3月11日	ウエスタ川越	埼玉

② 『協議会たより』

全国自立援助ホーム協議会の広報誌として、『協議会たより』を予定通り年2回発行した。

一回目は、名古屋での全国大会直前の10月に発行。二回目は、年度末の3月に発行。

③ 人材確保に向けた情報発信

自立援助ホームの仕事を簡単にわかりやすく説明するホームページ上におけるカラー刷りパンフレット『自立援助ホームのお仕事』の作成について、具体的内容の作成作業に執りかかった。また、その作成費用に関しては、具体的な助成金を得ることはできなかった。

④ 『全国自立援助ホーム概要』の刊行

名古屋での全国大会において、協議会による全国大会 25 周年記念事業として、『全国ホームガイド』と銘打って、会員ホームのご協力を得る形でその編集作業に執りかかり、全国の各ホーム写真付き 1 ページで、1000 部刊行した。

⑤ ホーム訪問企画

関東の 11 ホーム 15 名の有志により、茨城にある自立援助ホーム『吾が家』へ、試験的にホーム訪問を企画した。吾が家のホームでの実践と取り組みを紹介していただき、ホーム同士の情報交換に努め、ホーム同士の交流を深めた。